

在宅医療懇話会用資料

【テーマ:在宅医療介護連携推進事業】

市町名: 豊中市

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	実施の有無(有・無) (直営・ 一部委託) 【現状】医療機関・薬局は三師会から、介護保険事業所は指定情報から収集し掲載希望の分を掲載。掲載機関と希望者に配布。介護情報はHPからも見える。	掲載を希望されない医療・介護機関の情報が漏れてしまう。	
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】虹ねっと連絡会を年2回程開催。	虹ねっと連絡会に参加されていない、医療・介護機関への対応。	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】虹ねっと連絡会の下にモデル地域を選定したWGを設置。主治医副主治医の仕組み作り、病診連携、関係職種による情報共有のあり方など検討。	モデル地域の取組の周知を図り、参加してもらえる医療機関等を増やしていく必要がある。	
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】既存の各種連携ツールの使用状況や使い勝手等を調査し必要時見直す退院前カンファレンス推進WG、関係職種が情報をスムーズに共有できるネットワークシステムの導入に向けたICT検討WGを設置。	退院前カンファレンスマニュアルの改訂以前に、カンファレンスの開催が増加しない要因を解決する必要がある。今年度地域連携担当者で集まり検討する予定。	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	実施の有無(有・ 無) (直営・委託) 【現状】整備に向けて検討中	在宅医療推進事業のコーディネータが相談支援を兼務できない。	地域医療・介護総合確保基金事業と介護保険の地域支援事業とのつながりや継続性を考慮してほしい。
(カ) 医療・介護関係者の研修	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】緩和ケア勉強会や在宅医療講演会等虹ねっと連絡会が後援し実施。他職種の理解、スキルアップにつながる仕組みを検討する多職種スキルアップWGを設置。	他職種に対する理解を更に深め、連携につなげていく必要がある。今年度は、WGメンバーが三師会、関係機関向けに出前講座を行う予定。	
(キ) 地域住民への普及啓発	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】市民の在宅医療・介護に対するニーズを把握し、市民講座等を実施する「市民啓発WG」を設置。	2025年を見据えて、市民へ啓発すべき内容、啓発方法を続けて検討していく必要がある。	
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】豊能在宅医療懇話会にて各市町と協議し、連携を図る。		

市町名: 池田市

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の 資源の把握	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 医療機関マップを作成し、関係機関に配布。今 後市民にも発信していく方向で検討中。	平成26年度に在宅医療連携拠点事業で 市立池田病院が医療連携マップを作成、 今後の活用を検討	大阪府内全体や豊能圏域で、ICTを利用し た、医療・介護のマップ情報などのシステム 構築ができないか
(イ) 在宅医療・介護連携 の課題の抽出と対 応策の検討	実施の有無(有・無) (直営・一部委 託) 【現状】 市民病院主導での会議を実施	市立池田病院で平成21年度から実施の 会議に参加している。 ※地域医療連携推進委員会 在宅医療連携拠点検討部会	
(ウ) 切れ目のない在宅 医療と介護の提供 体制の構築推進	実施の有無(有・無) (直営・一部委 託) 【現状】 29年度実施予定	地区医師会との協議が必要	各地域の地区医師会に対して、市町村が個 別に協議するのではなく、大阪府の医師会と大 阪府が連携して在宅医療体制の構築にあ たってほしい。
(エ) 医療・介護関係者の 情報共有の支援	実施の有無(有・無) (直営・一部委 託) 【現状】 29年度実施予定	地区医師会との協議が必要	各地域の地区医師会に対して、市町村が個 別に協議するのではなく、大阪府の医師会と大 阪府が連携して体制の構築にあたってほし い。
(オ) 在宅医療・介護連携 に関する相談支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】個別事例については関係者で会議等 実施しているが、連携相談について窓口等は なし。29年度実施予定。	地区医師会との協議が必要	各地域の地区医師会に対して、市町村が個 別に協議するのではなく、大阪府の医師会と大 阪府が連携して体制の構築にあたってほし い。
(カ) 医療・介護関係者の 研修	実施の有無(有・無) (直営・一部委 託) 【現状】 市民病院主導で実施	市立池田病院で多職種の研修会をすでに 実施、今後共同して実施を検討	
(キ) 地域住民への普及 啓発	実施の有無(有・無) (直営・一部委 託) 【現状】 29年度実施予定		
(ク) 在宅医療・介護連携 に関する関係市区 町村の連携	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 豊能在宅医療懇話会にて各市町と協議し、連 携を図る。		

市町名: 吹田市

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】介護保険事業所や医療機関の住所、連絡先などが掲載された冊子「介護と予防」を関係機関・市民へ配布。	すべての事業所が掲載されておらず、更新が年に1度。紙媒体であることからタイムリーな情報が把握しにくい。	把握資源を活用するために、システムによる見える化や定期更新が必要。また、二次医療圏や近隣市町村で共通ツールを活用することで、情報共有とコストダウンが図られるのではないかと。
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】「吹田市在宅医療・介護連携推進協議会」を設置。昨年度の準備会では出された課題に対しての具体策を協議。	医療的ケアを要する方への支援、嚥下機能のアセスメント技術や嚥下機能に応じての食への支援等の個別課題への対応。	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】医療・介護関係者の連携のツール作成等を通じて、医療機関と地域との連携ルールづくりに	退院支援システムの構築が必要。	在宅療養の推進に係る、大阪府医師会から地区医師会への連絡等、医師会の動きについて大阪府からの情報提供。
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】実施未定	ケアマネと病院連携室との連携ツールはあるが、更なる普及と形式の見直しが必要。ICTの活用については、関係機関の意思統一、個人情報の管理の問題がある。	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】実施未定		認知症支援と医療・介護連携に関する支援の共通事項に関しての複合した取組を府でも検討してほしい。
(カ) 医療・介護関係者の研修	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】多職種の顔の見える関係を構築を目指し、認知症や看取り等をテーマに、これまで3回にわたり、講義、GWを行っている。	研修については、開催時間の工夫が必要。また、その他、多様なレベルでの多職種連携の機会を持つことも必要。	病院スタッフが在宅療養の理解を促す取組として、病院が在宅療養の現場を経験する等の研修の実施を検討してほしい。
(キ) 地域住民への普及啓発	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】平成28年度にリーフレット作成予定	多様な機関がリビングウィル、エンディングノート等個人の死生観に関する啓発をする中での行政の役割。	看取りを含めた在宅療養について講義できる講師の情報を提供してほしい。
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	実施の有無(有・無)(直営・委託) 【現状】豊能圏域市町村担当者会議及び豊能在宅医療懇話会への参加。	急性期病院等の医療機関が集積しているため、病院と他市町村のケアマネの連携も含め、連携ツールの統一や共有が必要ではないかと。	大阪府及び2次医療圏全体としてとりまとめてほしい。

市町名: 箕面市

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】医師会で医療・介護資源を網羅した「医療マップ」を毎年発行。 市は「高齢者福祉サービスのご案内」を発行。		
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】「在宅医療推進事業運営委員会」を2か月に1回、医師会主催で開催。		
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】在宅医療と介護の調整、進行管理の必要性は認識。	在宅医療を担う診療所が少ない。 看取りを含めた切れ目のない対応ができる体制づくりの検討。	
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】市内医療機関と地域包括支援センターやケアマネジャー間で「情報交換連絡票」を活用。	ICT等の活用の検討。	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】医師会に在宅医療推進コーディネーターを1名配置。在宅医療の参入促進や訪問診療所を支援。		
(カ) 医療・介護関係者の研修	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】H26年度から多職種連携研修会を開催。今年度も3回予定。(H27年度から医師会に委託)		
(キ) 地域住民への普及啓発	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】市民向けの講演会を開催。(H27年度から医師会に委託) 医師会で「認知症マップ」を市民向けに作成。	認知症支援の啓発、終末期ケアや看取りの理解促進。	
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】豊能在宅医療懇話会にて各市町と協議し、連携を図る。	市域を越えた課題の把握・調整。	

市町名: 豊能町

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】医療機関情報は便利帳作成時情報収集し、全戸配布。医療と介護保険事業所の情報誌は介護保険担当課にて作成し、適宜配布。	独居、高齢者夫婦世帯などの増加が見込まれる中、現在の情報誌生活支援の情報についての追記や認知症に関する相談窓口、医療機関(町内に精神科の医療機関がない)などの掲載が必要と考える。	
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】28年度実施予定	医療と介護連携における情報交換や課題抽出の場がなく、まず医療関係者と包括、ケアマネジャー等が顔を合わせるこから始めており、年度内に必要なことを協議できる「在宅医療・介護連携推進部会」を設置予定。	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】退院から地域との連携は、包括支援センターが中継点となり、ほぼ切れ目なく在宅生活へ移行できている。	本町のように小規模な場合、必要な医療の確保自体が困難である。 また、兵庫県での医療を受けている者も少なくなく、府県を超えた連携が必要となる。	大阪府において豊能二次医療圏域の広域連携の仕組みの構築を強く要望します。
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】29年度実施予定	町内の医療機関とケアマネジャーとの情報交換のための共通の書式がないため、今後一定の書式で情報交換ができる連携シートの作成が必要。	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】29年度実施予定。個別ケースについては担当者間で情報交換しているが、総合的な窓口設置の必要性などは要検討。	どのような相談内容を想定した相談支援なのか不明。	どのような相談内容を想定したらよいか不明であるので、具体的な事例の提供をお願いしたい。
(カ) 医療・介護関係者の研修	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】29年度実施予定。早期開催が望まれるが、具体的には未定。	具体的な内容	どのような研修内容を想定したらよいか不明であるので、具体的な事例の提供をお願いしたい。
(キ) 地域住民への普及啓発	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】28年度実施予定	どのようなテーマを住民と共有するか。(現在、在宅での看取りへの向き合い方について検討中)	看取りを含めた在宅療養について講義できる講師の情報を提供してほしい。
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】豊能在宅医療懇話会にて各市町と協議し、連携を図る。	府県を超えた連携が必要。	大阪府において豊能二次医療圏域の広域連携の仕組みの構築を強く要望します。

市町名: 能勢町

(平成28年7月1日現在)

事業項目	現状	課題	提案・要望
(ア) 地域の医療・介護の 資源の把握	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】26年度に池田・豊能・能勢地域の「医療機 関マップ」作成。介護サービス提供事業所一覧も掲 載。マップ協力機関・事業所に配布。住民への提供	池田市医師会管内だけでなく、隣接他府 県を含む他市町の資源の把握及び情報 の提供	隣接他府県との連携について、大阪府として 取り組みを進めてもらいたい。
(イ) 在宅医療・介護連携 の課題の抽出と対 応策の検討	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 28年度実施予定	医療・介護関係者の情報交換等の機会 の設定	
(ウ) 切れ目のない在宅 医療と介護の提供 体制の構築推進	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 29年度実施予定	町内に資源が少ない、またはない。	町内に少ない、またはない資源(訪看、在宅支援 歯科診療所、在宅患者訪問薬剤管理指導料を算 定している薬局)についての広域連携における確 保について、大阪府または大阪府三師会等として 協力をお願いしたい。
(エ) 医療・介護関係者の 情報共有の支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 29年度実施予定	連携・情報共有ツール等の作成	
(オ) 在宅医療・介護連携 に関する相談支援	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 29年度実施予定		
(カ) 医療・介護関係者の 研修	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 29年度実施予定	町内の医療・介護関係者のニーズ把握	
(キ) 地域住民への普及 啓発	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 29年度実施予定	在宅医療・介護の提供体制の構築ができ ていないため、住民に対して選択肢を示す ことができない。	
(ク) 在宅医療・介護連携 に関する関係市区 町村の連携	実施の有無(有・無) (直営・委託) 【現状】 28年度実施、豊能在宅医療懇話会にて各市 町と協議し、連携を図る。		二次医療圏域または大阪府としての広域連 携の継続支援をお願いしたい。